

「相談支援の質の向上に向けた検討会」開催要綱

1 趣旨

計画相談支援については、平成 27 年 12 月に取りまとめられた社会保障審議会障害者部会報告書を受け、平成 28 年 3 月から 7 月に「相談支援の質の向上に向けた検討会」を開催し、取りまとめ（平成 28 年 7 月 19 日）を行った。

取りまとめにおいて示された相談支援専門員の資質の向上については、現行の研修を充実させ、効果的な実地研修（OJT）を組み込むべきとの方向性が示され、さらに厚生労働科学研究「相談支援従事者研修のプログラム開発と評価に関する研究」（平成 28 年度から平成 29 年度まで）により初任者研修及び現任研修に必要な要素を整理し、研修のモデルプログラムの開発をしたところである。

その後、平成 30 年 10 月の社会保障審議会障害者部会において、研修項目や障害当事者の負担軽減等についての議論が行われた。これを受け、各都道府県における研修の円滑な実施に当たり、これまでの検討結果を踏まえ、必要な研修項目及び時間数の調整、研修受講における障害当事者への配慮事項等について検討を行うため、開催要綱を一部改正のうえ、「相談支援の質の向上に向けた検討会」を開催する。

2 主な検討事項

（1）研修項目に関する事項

- 相談支援専門員が必要とする価値・知識・技術を獲得できる研修項目及び時間数について

（2）研修受講における配慮に関する事項

- 障害当事者が研修を受講する場合の適切な配慮について

3 構成等

- （1）検討会の構成員は別添のとおりとする。
- （2）検討会に座長及び副座長を置き、構成員互選によりこれを定める。

4 スケジュール

平成 31 年 2 月 14 日に第 6 回を開催し、平成 30 年度中を目途に 3 回程度開催する。

5 その他

会議は原則公開とし、資料及び議事概要は公表する。

庶務は厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課において行う。

(別添)

「相談支援の質の向上に向けた検討会」構成員名簿
(平成31年2月14日現在)

阿部 一彦 (社会福祉法人日本身体障害者団体連合会会長)

今井 忠 (一般社団法人日本発達障害ネットワーク (JDDnet) 理事)

今村 登 (特定非営利活動法人自立生活センターSTEP えどがわ理事長)

内布 智之 (一般社団法人日本メンタルヘルスピアサポート専門員研修機構代表理事)

大濱 眞 (公益社団法人全国脊髄損傷者連合会代表理事)

小澤 温 (筑波大学人間系教授)

小幡 恭弘 (公益社団法人全国精神保健福祉会連合会事務局長)

門屋 充郎 (特定非営利活動法人日本相談支援専門員協会顧問)

熊谷 晋一郎 (東京大学先端科学技術研究センター准教授)

鈴木 孝幸 (社会福祉法人日本盲人会連合理事)

田中 正博 (全国手をつなぐ育成会連合会統括)

玉木 幸則 (特定非営利活動法人日本相談支援専門員協会顧問)

富岡 貴生 (公益財団法人日本知的障害者福祉協会相談支援部会副部会長)

中西 正司 (特定非営利活動法人当事者エンパワメントネットワーク理事長)

松本 正志 (一般財団法人全日本ろうあ連盟福祉・労働委員会委員)

三浦 貴子 (社会福祉法人全国社会福祉協議会全国身体障害者施設協議会制度・予算対策委員長)

(五十音順、敬称略)

(以上16名)